

行事報告書(自主活動)

報告者: 仲谷貞夫

行事名	甲山探鳥会3月会
実施日時	2024年3月14日(木曜日) 9:00~14:00 天候: 晴れ 気温 10℃
場所	道場
参加人員	7名 (内訳 MNC 5名、一般参加 2名)
参加者	MNC 松生、花島、三仲、森本、森永(啓) 一般参加 佐藤、武藤 (敬称略)
観察鳥	鳥数 41種 (コジュケイ)、オカヨシガモ、マガモ、カルガモ、ハシビロガモ、コガモ、ヒドリガモ、カイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、バン、オオバン、ケリ、イカルチドリ、クサシギ、イソシギ、トビ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、(ヤマガラ)、シジュウカラ、ヒバリ、ヒヨドリ、(ウグイス)、エナガ、メジロ、ムクドリ、ツグミ、ジョウビタキ、インホドリ、スズメ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ、カシラダカ ()内は鳴き声のみ
観察概要	<p>今朝は日差しもあり10度ではあったが暖かかった。集まった人数が7名といつもより少ない人数で出発した。今日の目標は40種以上の鳥を探すとキジを見ることである。</p> <p>駅前からスズメ、カワラヒワなどおなじみの鳥を見る。武庫川の河原は野焼きの後で鳥にとっては隠れるところが無くキジを見るのはだめかと思う。川の中でマガモ、ヒドリガモ、コガモ、カルガモなどと順調に数を稼いでいく。武庫川の周囲の田畑にはツグミがたくさん見られ、今日はツグミデーになった。周囲の藪からはウグイスの声が聞こえた。</p> <p>ホトケノザがびっしりと花をつけていて春を感じさせる。近隣の小川では森永さんから風の無い時は河原のススキなどの枯れた穂が揺れていたから小鳥がいるので注意するようにと教えてもらった。まさに枯れた穂の中にメジロの群れがいた。</p> <p>途中の竹やぶからコジュケイの力強い声が聞こえた。(チョット コイ?)</p> <p>家の庭に植えてあるナンテンの実が一部食べられていた。ナンテンやクロガネモチの赤い実は鳥に人気が無いようだが春も遅くなると食べられる。花島さんが他所のクラブで教えてもらったところこれらの実には最初には毒があるそうだが春になると毒が消え鳥も食べ始めるとの事だ。</p> <p>池の中にはオオバン、ハシビロガモやオカヨシガモを見ることが出来た。畑の上の空の中で黒い点のように見えるヒバリのにぎやかなさえずりが響き渡っている。あんなに小さな体からどうやってこれだけの音量の声を響き渡すことが出来るのか不思議である。</p> <p>昼食場所の塩田八幡宮の近くの畑の上をケリが悠々と飛んでいて羽の白い部分が良く目立った。電線に美しい個体のモズが留まっていて皆うっとり眺めた。</p> <p>午後は川の中でイカルチドリやクサシギなどを見た。相変わらずシギ、チドリの区別は難しい。午後になると雲が出てきて風も吹いて寒くなってきた。終わってみれば41種とたくさんの種類の鳥を同定出来て満足のいく探鳥会になった。皆様お疲れさまでした。(記 森本)</p> <p>今回世話役(仲谷)不参加のため観察記録は急遽森本さんに担当していただきました。(お世話になりました)</p> <p>また、いつも写真の提供をいただいている方も皆さん不参加であったため、今回は観察鳥の記録写真はありません。(記 仲谷)</p>
連絡事項	<p>次回、来年度最初の観察会は4月18日(木)に甲山森林公園を予定しています。奮ってご参加ください。</p> 